

## ◆『2013年度 第1回 ITS Japan コミュニティプラザ』開催報告

— 宇宙開発利用を技術で支えるJAXAの取組 —

5月23日(木)に、2013年度第1回のコミュニティプラザとして、JAXAの通信衛星・観測衛星の取組を、宇宙航空研究開発機構(JAXA)衛星利用推進センター(SAPC)の富井直弥氏、小暮聡氏よりご紹介頂きました。

はじめに、富井氏から「我が国の宇宙開発利用の概要と衛星利用の状況について」と題して、産業振興からみた通信衛星・観測衛星の現状と、今後の利活用に向けた取り組みについてご紹介頂きました。内閣府の示す「宇宙基本計画」をベースに、測位、衛星写真、地理空間情報といった各種観測衛星からのデータを地形図、防災、農業・林業などに活用していく取り組みや、3・11 東日本大震災で通信インフラとしての活用されたブロードバンド通信衛星「きずな」の利活用からより使いやすい次世代通信衛星に向けた取り組みなどをご紹介いただきました。

続けて、小暮氏より「準天頂衛星初号機「みちびき」の技術実証について」と題して、準天頂衛星システム(QZSS)の最新状況と、将来像についてご紹介頂きました。「みちびき」の実証実験を通じ、従来のGPS衛星を超える精度・測位利用率の改善が見られ、高い運用性が確保されると同時に、世界的に複数の測位衛星システム計画が進むなか、日本としても、2010年代後半に向けて4機体制を確立し、将来的には7機体制を目指すことで、さらなる精度・測位利用率の高度化を進めて、様々なサービスに活用していく将来像をご紹介頂きました。

宇宙航空分野は、研究・開発段階から、実用化・産業振興を進めていこうとしています。ITSの世界でも、測位技術や地理空間情報など、衛星技術は共に歩んでいく技術として、活発な質疑応答・意見交換がありました。参加者は55名でした。



JAXA 富井氏

### <開催結果概要>

- 参加者:55名
- 期日: 2013年5月23日(月) 16:00~17:30
- 場所: ITS Japan 会議室

■プログラム:(敬称略)

1) 我が国の宇宙開発利用の概要と衛星利用の状況について

富井 直弥

JAXA 宇宙利用ミッション本部 衛星利用推進センター(SAPC) 戦略計画管理 主幹

2) 準天頂衛星初号機「みちびき」の技術実証について

小暮 聡

JAXA 準天頂衛星システム第一衛星利用ミッション本部

衛星利用推進センター(SAPC) ミッションマネージャ

※終了後、懇親会を開催いたしました。